



くらしの目線で市政を変える

## 京都府知事選・府会補選 激戦も惜敗

### 府知事選 福山和人候補 得票率44.1%まで猛追

蜷川民主府政後の40年間で最高の得票率

左京区では福山候補が逆転！

立憲民主支持層の6割、無党派層の過半数が「福山」へ投票



4月8日に投票が行われた、京都府知事選挙で福山和人候補は、31万7617票（得票率44.1%）を獲得し、大健闘でした。結果は残念ですが、日本共産党が推薦し、緑の党や新社会党が支持したほか、多くの市民団体や個人が応援をしました。福山さんの地元、左京区では相手候補に2581票の差で勝っています。投票率が35.18%と前回並みに下がっている中、得票を約10万票も前回より伸ばしました。無党派層の5割、立憲民主党支持層の6割が福山さんを支持しました。

府民のくらしが大変な中、相手候補は北陸新幹線やリニア、大津や亀岡への新たな道路建設などのインフラ整備や国とのパイプを強調しました。福山さんは具体的に財源を示して、子どもの医療費の無料化や返済不要の奨学金、全員の中学校給、中小企業応援や原発ゼロの政策を訴えました。

### 府会補選 西山のぶひで 25284票

15年府会票の1.4倍

17年総選挙比例票の2倍

伏見区で行われた府会議員の補欠選挙では、西山候補は自民党候補と横一線の戦いで2万5284票（得票率42.1%）を獲得しました。これは、昨年の衆議院選挙の比例の1.85倍にもなります。西山さんは報告集会で「故上原裕見子府会議員の議席を引き継げなかつたことは残念ですが、選挙公約を1日も早く実現するために、今日から行動をしていきます」と決意を述べました。



街頭で訴える西山のぶひで候補



## 池田町バス停にベンチ設置

### みなさんの声で実現しました

一昨年4月の議会報告会で「池田町バス停にベンチと屋根がほしい」との要望が寄せられました。早速、西野市議員が交通局に要望を届けましたが、いい返事がありませんでした。そこで、要望署名活動が始まり、「年を取って、椅子がなくて困っていた」「二人の幼児を連れて大勢まで行く。椅子がなくて大変。署名2枚預かります」「近所の分預かります」と一人で85筆を集めた方もおられるなど、どんどん署名が広がりました。党派を超えた多くの方の協力で350筆以上が集まり、京都交通局と京阪バスへ、署名を届けました。交通局は「京阪バスに要望を届ける」京阪バスは「要望は承知しました。予算が必要なので、今すぐは無理だが、優先して検討します」との答えでした。そして、昨年度の京都市予算に「市内周辺部における生活交通の維持・確保に係る民間バス事業者への支援」として、6500万円が計上されました。これは、ベンチなどのバス待ち環境の改善をする民間バス会社に支援をするものです。京阪バスはこの予算を活用して、ベンチを設置しました。上屋ができなかったのは残念ですが、皆さんの声で実現しました。



設置前



設置後